

# 令和4年度事業報告書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

公益財団法人 海原会



## 令和4年度事業報告書

自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月31日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和42年5月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和53年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も500名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっているのは遺憾ながら否めない現実であります。令和4年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊顕彰活動に従事するかたわら、昨年度に引き続き会員の募集にも力を入れて参りましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、前述のように厳しい環境下ではありますが、令和4年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

### I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大も終息傾向にあり、また非常事態宣言も解除されたために、3年振りに通常の規模で開催しました。特に、今回は第55回目の節目の慰霊祭でもあったために、慰霊祭前日に海上自衛隊横須賀音楽隊を招聘して「慰霊演奏会」を開催しました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭に、可能な限り役員を参加させるとともに、必要により玉串料を奉納し予科練戦没者の御霊の安らかならんことをお祈り申し上げます。

その状況は以下に記述するとおりであります。

#### 1 慰霊事業

(1) 第55回予科練戦没者慰霊祭

コロナウイルスの感染が収束の気配を見せたことにより、第55回予科練戦没者慰霊祭は例年通りの規模と内容で開催しました。

また、今回は第55回目の節目の慰霊祭であったので海上自衛隊横須賀音楽隊を招聘して慰霊演奏会を開催しました。

初夏の陽気を思わせる五月晴のもと、参加者の心のこもった慰霊祭を挙げることができました。

ア 第55回予科練戦没者慰霊祭記念慰霊演奏会

(ア) 日 時 : 令和4年5月28日(土) 午後13時

(イ) 場 所 : 阿見町本郷ふれあいセンター 多目的ホール

(ウ) 演 奏 : 海上自衛隊横須賀音楽隊

(エ) 内 容

a 演奏指導の実施

5月27日(金)13時から、霞ヶ浦高等学校において同校プラスバンド部の学生に対して演奏指導を実施しました。

b 演奏会の実施

5月28日(土)13時から抽選で選ばれた約300名の来場者に対して、演奏会を実施しました。

イ 予科練戦没者を偲ぶ集い

(ア) 日 時 : 令和5年5月28日(土) 午後6時

(イ) 場 所 : ホテルマロウド筑波

(ウ) 参加者 : 陸上自衛隊武器学校長以下主要幹部 5名  
遺族及び予科練同窓生 27名  
一般支援者 24名

ウ 第55回予科練戦没者慰霊式典

(ア) 日 時 : 令和4年5月28日(土) 午前11時から

(イ) 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

(ウ) 内 容

a 第55回予科練戦没者慰霊式典

式典では、菅野理事長が参加者を代表して祭文を奉読した後施設学校音楽隊が奏でる「國の鎮め」に併せて黙禱を実施しました。

陸上自衛隊武器学校長、海上自衛隊下総教育航空集団司令官、阿見町町長にご祝辞をいただいた後、海原会行方参与により遺稿朗読が行われました。

今回の慰霊祭を最後に、自衛隊を定年退職される井上音楽隊長に対

して、長年の海原会への協力に感謝して理事長から感謝状が贈られました。

b 式典参加者

- (a) 海原会役員等（12名）が参加しました。
- (b) ご遺族代表として、丙飛期8 故 小野田保雄命の実妹 君島操様が出席し、挨拶をいただきました。
- (c) 陸上自衛隊武器学校長他主要幹部自衛官9名の出席をいただきました。
- (d) 阿見町町長、阿見町町議会議長、阿見町教育長、予科練平和記念館長、笠間市教育部長、土浦市長等行政機関の代表者の出席をいただきました。
- (e) ご遺族及び予科練同窓生を始めとする会員等に対して玉串を募集し、協賛いただいた106名の芳名録を慰霊碑に奉奠しました。芳名録は第56回慰霊祭までの間雄翔館に展示することとしました。

c 協力団体等

- 陸上自衛隊武器学校 : 慰霊祭会場の設置及び椅子等備品の提供
- 陸上自衛隊武器教導隊 : 慰霊祭会場の環境等整備
- 陸上自衛隊施設学校 : 音楽隊の派遣
- 海上自衛隊下総教育航空群 : 儀仗隊の派遣
- 甲飛喇叭隊 : 勤務員の派遣
- 予科練平和記念館 : (1) 同館駐車場の利用  
(2) 予科練平和記念館の無料開放
- 阿見町交通安全母の会 : 勤務員の派遣
- 更生保護女性の会 : 勤務員の派遣
- 霞ヶ浦高等学校 : 勤務員の派遣

d 慰霊祭動画の編集とDVDの贈呈

慰霊祭の様子を撮影した動画を編集して、玉串料を奉納していただいた協力者全員に贈呈しました。

(2) 全国各地で举行された慰霊祭等への参加

本年度予定されていたほとんどの慰霊行事等が、中止もしくは規模を縮小しての開催を余儀なくされました。

令和4年 6月 25日 第48回静岡空襲日米合同慰霊祭  
於：静岡市賤機山

- 規模を縮小して開催されました。
- 7月 9日 大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社  
コロナ禍のため規模を縮小し開催された。  
平野事務局長が出席した。
- 9月 23日 特攻平和観音年次法要  
於：世田谷観音寺内特攻観音堂  
規模を縮小して開催したため、海原会から玉串料  
(供花)を奉納した。
- 6月 25日 つくば海軍航空隊慰霊祭  
規模を縮小して開催された。平野事務局長及び  
行方参与が出席した。
- 11月 13日 陸上自衛隊武器学校開設記念行事  
於：陸上自衛隊土浦駐屯地  
公募による一般公開を実施しました。菅野名誉顧  
問、安井理事長、平野理事が出席しました。
- 10月 海上自衛隊下総航空基地開設62周年記念行事  
於：海上自衛隊下総航空基地  
コロナウイルスの感染拡大のために中止に  
なりました。
- 10月30日 阿見町戦没者追悼式  
於：阿見町体育館  
3年に1回開催される追悼式が本年開催され、安  
井理事長と平野理事が参列しました。
- 令和5年 3月 22日 第40回宮崎特攻基地慰霊祭  
コロナ感染拡大防止のため規模を縮小して開催
- 3月 25日 第44回特攻隊全戦没者慰霊祭  
於：靖国神社  
理事長代理として、六車顧問が出席

### (3) 慰霊環境の整備

- ア 雄翔園整備作業計画の策定  
雄翔園整備作業計画(月間整備計画)を作成して、整備実施の根拠としま  
した。
- イ 雄翔園整備作業の実施  
本年度は、計65回の整備を実施しました。参加した作業人員は延べ65

人です。

(4) 雄翔園及び雄翔館見学者実績

令和4年度は、25,591名の方が雄翔園及び雄翔館を見学しました。

本年度はコロナウイルス感染拡大が一段段落したために訪問者が増加しました。

開館中に見学者から頂戴した見学所見は、機関誌「豫科練」に掲載しました。

掲載させていただいた見学者には当該機関誌を贈呈させていただきました。

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。令和4年度は、ご遺族等から提供いただいた13点の遺品等を整理保管いたしました。

イ 海原会所蔵品等の整備

(ア) 所蔵庫に保管している遺品等の整備

本年度は、42回の整備作業を実施しました。この間延べで68名の方が整備に協力をしていただきました。

実施した作業の内容は以下の通りです。

- a 保管庫内配置図の作成
- b 所蔵品の現況調査の実施
- c 遺品及び資料等の一時貸出返納
- d 寄贈受遺品等の登録収納

(イ) 事務所移転に伴う事務局保管資料等の整理

a 事務局保管資料の整理

(a) 名簿目録の作成

事務局に保管している予科練戦友会等の名簿類140冊の目録を作成し、検索を容易にしました。

(b) 機関紙総目次の作成

予科練同窓生ご子息の協力をいただき、海原会で保管している機関誌「予科練」の総目次を作成しました。

(2) 遺族支援調査

ア ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓

蒙と当会への入会の促進を図ってきました。本年度は新たに4名の御遺族を特定することができ2名の方が入会していただきました。

イ 本年度は特に、祖父や父親が元生存予科練であったという方からの連絡や入会の問い合わせが増加しました。

### (3) 海原会会員の入退会状況

本年度は、26名の方が退会され新たに20名の方が入会されました。

年度末現在における会員数は、394名で、その内訳は以下のとおりです。

ア 一般会員 378名

イ 賛助会員 9名

ウ 学生会員 4名

エ サポーター会員 3名

### (4) 陸上自衛隊との連携

本年度はコロナウイルスの影響も減少し、駐屯地の観桜会や開設記念行事の多くが開催されたために、例年並みの連携ができました。

#### ア 雄翔館の整備

本年度は、武器学校の協力を得て雄翔館の空調設備のリニューアルをしていただきました。

#### イ 武器学校開設記念行事

(ア) 令和4年11月13日(日)に陸上自衛隊土浦駐屯地開設70周年記念行事が開催され、海原会から菅野名誉顧問、安井理事長、平野事務局長が参加しました。この際、菅野名誉顧問及び平野理事の両名に学校長から感謝状が授与されました。

#### (イ) 雄翔館の案内

開設記念行事で見学に来られる一般入場者を対象に、海原会で雄翔館内の案内を実施しました。

酒井副理事長、湯原霞ヶ浦支部長、海原会会員有志

#### ウ 施設学校音楽隊定期演奏会

令和5年2月10日(金)に開催された施設学校音楽隊定期演奏会に平野理事が出席しました。また、音楽隊からの支援要請を受け行方参与が総司会を努めました。

#### エ 施設学校開設71周年記念行事

令和4年11月6日(日)に開催された記念行事に、理事長代理で酒井副理事長が参加しました。

## (5) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

### ア 航空学生の入隊式

第74期航空学生の入隊式は、コロナウイルス感染拡大防止のために出席者を限定して開催されたために、海原会からの参加はありませんでした。

### イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりました。

### ウ 下総航空基地開設記念行事

令和4年10月22日(土)開催された下総基地開設63周年記念行事に、安井理事長と平野理事が出席しました。記念行事はコロナウイルス感染拡大防止のために格納庫において執行者及び来賓のご挨拶の後、別室での名刺交換に限定されました。

### エ 下総航空基地観桜会

令和5年3月24日(金)に、下総航空基地観桜会が開催され平野理事及び行方参与が出席しました。

## (6) 行政及び他団体等との連携

### ア 予科練平和記念館運営協議会

8月29日(月)・3月20日(月)に開催され、委員として平野理事が出席しました。

### イ ご遺族等調査協力

予科練平和記念館からの要請により、ご遺族など4名の方の戦没予科練生及び生存同窓生に関する調査に協力しました。

### ウ 3者連絡会

阿見町所在の慰霊団体である阿見町予科練平和記念館、阿見町観光ガイド、海原会の3団体が、地域における慰霊活動等の拡大及び活性化を図る目的で意見交換を行うための連絡会であり、7月25日に結成し年度内7回の連絡会を開催しました。

7月25日、10月12日、11月16日、12月25日、1月27日  
2月15日、3月24日

## II 定期刊行物発行业務

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来475号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に努めるとともに、ご投稿をいただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげる施策を継続したいと思います。

#### 1 編集会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインまたは編集資料を郵送して行っていた編集会議要領が定着したために今後は同要領を継続することとなりました。

#### 2 機関誌の発行

計画どおり、第470号から第475号まで6回の機関紙の発行を行いました。

#### 3 雄翔館見学感想文投稿者に対する機関誌の無料提供

雄翔館訪問時に感想文を投稿していただいた方の内、住所及び氏名を記載された方37名に、本人の感想文が掲載された機関誌を無料で送付しました。

#### 4 編集委員会組織の変更

従来編集委員長を務めていただいた、保坂理事が理事を退任したことにより、新編集委員長として塚理事が選任されました。

### III 青少年育成支援事業

(1) 今年度は、新型肺炎ウイルスの感染により阿見町子ども会育成連合会主催の球技大会が中止となり、助成の遠慮の申し出があったので助成は行いませんでした。

#### (2) ネットワーク海原会の構築

令和3年3月15日に立ち上げたネットワーク海原会を活用して11回の意見交換会を開催しました。

今後このネットワークを活用した様々な活動を通じて、若者の健全な育成を促進したいと思います。

令和4年4月13日、5月16日、6月15日、7月20日

8月29日、9月26日、10月24日、11月21日、12月21日

令和5年1月23日、2月20日、

### IV 庶務事項

#### (1) 理事会開催

隔月1回の定例理事会を実施しました。非常事態宣言の解除にともない、役員  
の安全を確保する目途がたったために、年6回の理事会全てを対面での通  
常理事会としました。開催日時は以下のとおりです。

令和4年4月14日、6月18日、8月20日、10月29日、12月17日、  
令和5年2月25日

(2) 令和4年度臨時評議員会

代表理事の要請に基づき次のとおり令和4年度臨時評議員会をみなし決議で  
開催しました。

ア 審議実施時期

令和4年11月11日

イ 審議事項

基本財産の一部を除外する件

(3) 令和4年度評議員会

令和4年度評議員会を以下の要領で開催し、菅野寛也代表理事が提案した以  
下の議題について審議を行いました。

提案のとおり全評議員の賛成を得て承認されました。

ア 開催時期

令和4年6月18日

イ 開催場所

ホテルマロウド筑波「鶴の間」

(茨城県土浦市城北町2-24)

ウ 審議事項

(ア) 令和3年度事業報告(令和3年度収支決算)

(イ) 監査結果報告

(ウ) 令和4年度事業計画(令和4年度収支予算)

(エ) 評議員の選任について

(オ) 理事長・副理事長の選任について

(5) 会計監査

令和4年4月14日(木) 海原会会議室において、令和4年度の評議員会  
の開催に先立ち、令和3年度の経費執行状況について監事1名による監査を  
実施し、令和3年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないこと  
を確認しました。

参加者

経費執行理事(副理事長)	酒井省三氏
(副理事長)	安井剛氏
事務局長(専務理事)	平野陽一郎氏

監査 (監事) 豊岡 昭 氏

令和年4年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 安井 剛